

平成 30 年第 2 回市議会定例会 一般質問通告（要旨）

平成 30 年 3 月 7 日（水）

1 大石 和央 議員

1	件名	障害者自立支援及び障がい者計画の現状と課題について
	(1)	地域で当たり前の生活を送るために、どのような自立支援を行っているのか、現状と課題について質問する。
	(2)	外出支援と就労支援、居場所づくりについて質問する。
	(3)	福祉総合相談の窓口設置による相談体制の強化と職員による合理的配慮の徹底についての見解を求める。
2	件名	原子力災害広域避難計画の策定方針書について
	(1)	市の避難計画策定の進捗状況をどのように評価しているのか。そもそも住民の被ばく（危険）を前提とした避難計画は、計画と言えるのか見解を求める。
	(2)	避難手段について、地震・津波災害時の避難は徒歩が原則である。原子力災害では自家用車等であるが、災害が複合する場合は矛盾するのではないか。
	(3)	車両による避難は、県の第 4 次被害想定を考慮すると、県の避難シミュレーションは合理性がなく、避難計画に実効性はないのではないか。市はどのようにシミュレーションするのか。

2 原口 康之 議員

1	件名	牧之原市スポーツ推進策について
	(1)	生涯スポーツの推進についてスポーツを「する」「みる」に係る取り組みについて伺う。
	(2)	中学校の運動部活動の将来への取り組みについて伺う。

3 植田 博巳 議員

1	件名	東名相良牧之原 IC 北側開発に伴う既存商店街に及ぼす影響について
	(1)	東名相良牧之原 IC 北側開発は、「総合計画の高台開発プロジェクト」に位置付け、都市計画マスタープランにおいて広域交流拠点と位置付けてコンパクトなまちづくりをするとされている。 この成功は、賑わい創出及び多様な雇用の創出など市内全域への効果を及ぼすものとしている。

		<p>牧之原市以外に建設を予定していると思われる小売店舗が複数あるとの話もある。商圈内人口は減り続けている。EC 市場が拡大し、リアル店舗とネット販売の競争となってくる。この点を踏まえ、当局の東名相良牧之原 IC 北側開発に伴う既存商店街活性化策について所見を伺う。</p>
2	<p>件名 太陽光発電施設がもたらす環境悪化対策について</p>	<p>市内の再生可能エネルギーの設備導入年間発電量は市内一般世の使用電力量の約 1.8 倍となるまで普及してきた。伊豆半島のある自治体では山林に計画しているメガソーラ建設計画に対しての混乱報道もある。</p> <p>また、住宅に隣接地に太陽光パネルが設置され、環境変化への不安を募らせる市民も多い。</p> <p>(1) 太陽光パネルの耐用年数は 20 年から 30 年程度、将来、太陽光パネルの寿命や修理交換に伴い、2030 年代半ば頃から使用済太陽光パネルの排出量が急増する見込み。太陽光パネルには、鉛、セレンといった有害物質が使用されているものもあり、関係法令に沿って適正な廃棄処理等が必要とされている。設置者に適切な管理を義務付ける条例制定など対抗策をとるべきと考える。当局の所見を伺う。</p>
	<p>件名 シーサイドプール地頭方廃止に対する代替施設について</p>	<p>(1) 杉本市政となり初の予算編成となる平成 30 年度予算案では、子育て支援に保育料の無償化や子育て支援センターの充実を図るなど子育て世代に軸足を置いていることは高く評価できるが、今回のプールの廃止の決定は、その施策と逆行するのではと考える。代替施設を建設する考えはあるのか。</p> <p>(2) 牧之原市議会の議決に付すべき公の施設の廃止又は長期かつ独占的利用に関する条例に該当する施設か伺う。</p>

4 平口 朋彦 議員

1	<p>件名 我が市における LGBT など性的マイノリティへの見解と今後の取り組みについて</p>	<p>(1) 日常的に手続きや相談などで窓口にくられる方に対し、職員の正しい知識と理解は重要である。適切な対応が行えるよう市として要綱やガイドラインを作成する必要があると思うがいかがか。</p> <p>(2) LGBT 当事者の受ける不利益を解消、緩和すべく東京都渋谷区や世田谷区では「同性パートナーシップ公認」証明書、宣誓書を発行するなどの同性カップル公認制度が布かれている。わが市での導入検討は。</p> <p>(3) 教育行政においての見解は。差別を招きやすい幼少期の対応は非常に大事であると思うがいかがか。</p>
	<p>件名 市の税収アップに向けて</p>	<p>(1) 毎年減収している「市たばこ税」はもとより、下げ止まらない地価の下落により伸び悩む「固定資産税」、実効税率の引き下げによって減額となった「法人市民税」、なにより人口がベースとなる「個人市民税」、「軽自動車税」のどの分野に力を掛けて税収増を図っていくのか。</p>

	(2)	外貨獲得のための「観光政策」は。どのように推進していくのか。
	(3)	現在、徴収していない「都市計画税」についての考え方は。

5 藤野 守 議員

	件名	国民健康保険運営の県単位化による福祉の向上について
1	(1)	県単位化は医療保険制度改革としているが、市民の立場からどのような点が改善されるかを伺う。
	(2)	現状の牧之原市の国保税については下がると予想されている。高すぎるので当然と思うが、市はどのように予想、推計しているか伺う。
	(3)	県は高校生までの子供医療費助成を 30 年度予算に計上した。これにより助成制度を 10 月から導入するとしているが、牧之原市も速やかに導入するのか伺う。

平成 30 年 3 月 8 日 (木)

6 鈴木 長馬 議員

	件名	牧之原市の安心、安全のまちづくり施策について
1	(1)	同報無線デジタルシステム構成図には、各家屋の設置の受信機は構成図に記載されていないが整備の対象にはならないのか。
	(2)	同報無線が聞き取れない各家庭に受信機を設置しない場合において伝える方策はあるのか伺う。

7 濱崎 一輝 議員

	件名	地域の絆づくり事業の今後の取り組みについて
1	(1)	当事業の進捗状況と今後の支援体制について伺う。
	(2)	市民と行政職員が一体となった取り組みが必要と考えるが、行政職員の関わりかたは。
	(3)	地域リーダー育成プロジェクトと、地域の絆づくり事業の関連性について伺う。